

## 8 郡上市立相生小学校

学 校 名	郡上市立 相生小学校 (校長 山田 暁男)
活動の種類・単位	「ふるさと」について学び、学んだことを発信する活動に取り組んだ。
教育課程上の位置付け	総合的な学習の時間

### 1 活動テーマ

地域の特徴やよさに気づき、地域を愛し、自ら学び・考え、自己の生き方を考える子の育成

### 2 主な活動内容

地域の自然や社会について、体験や追及を通して感じたことや更に取り組んでみたいことをもとにして学んでいる。学んだことを地域へ情報発信したり地域への働きかけを行ったりすることを目的として、3年生以上の総合的な学習の時間に、「ふるさと学習」を位置づけている。

地域の昔遊びの伝承や河川や森林の環境、福祉体験、歴史・文化遺産等の学習を学年の系統性を明らかにし、学年ごとに以下のようなテーマで学んだ。

#### <学年毎の学習内容>

3年	地域の伝統的な遊びの体験と人々の知恵、工夫（歴史）
4年	身近な地域の自然環境と環境問題（環境）
5年	郡上の自然環境と地域社会の特徴（環境） 暮らしを支援する仕組みや人々（福祉）
6年	地域の伝統や文化の継承（伝統文化） 安全な地域社会への参画（防災）



▲ 福祉施設訪問(5年)

これらの学習を通して「主体的に学び、課題を解決できる力」を育成したいと考えている。

#### <課題解決力の育成>

課題の設定	解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる
情報の収集	必要な情報収集し、蓄積する
情報の整理	問題の状況における事実や関係を把握し理解する
課題の解決	自分の考えを持ち、仲間との交流を通して解決する
情報の発信	相手や目的に応じて分かりやすくまとめ表現する



▲ 情報の収集・整理(3年)

学習発表会を行い、課題について学んだことや考えたり思ったりすることを、下の学年の子や保護者に伝えた。情報機器を活用することにより、聞き手により分かりやすく、より的確に伝わるように工夫することができた。

子供たちに付いた力	身近な地域の自然や産業、文化を題材として学ぶことを通して、地域に愛着と誇りがもてるようになり、心豊かに生活することができるようになった。
効果	情報機器を活用すると、視覚的に事象や学習内容を捉えることができ、子どもたちの興味関心や学ぶ意欲を高めることにつながった。また、情報発信の手段として利用する際に、機器のリテラシーを身に付けさせたり、写真や図などを使って視覚的に学んだことを効果的に伝えたりする力を身に付けさせることができた。子どもたちが主体的に学んだり活動したりすることができるようになった。
今後の方向	今年度は学んだことを児童間で交流し合うことや保護者への情報発信にとどまってしまうので、今後は地域の方などにも発信して、地域との交流をより深めたり、子どもたちの地域とのかかわりや地域活動についての興味関心を高めたりできるようにしていきたい。